

# グローバルヘルスのためのインパクト投資イニシアティブ 概要

## Impact Investment Initiative for Global Health (Triple I for GH)

内閣官房 健康・医療戦略室

### 背景

近年、特に低中所得国（LMICs）において、グローバルヘルス分野（GH）の財政負担が増大。公的資金に加え、サステナブル・ファイナンスを含む、民間資金を動員することが喫緊の課題。G7広島サミットにおいて、G7首脳は、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成を含むGHへの貢献を視野に、インパクト投資に対する認識を高め、好事例を共有するためのイニシアティブを承認。本イニシアティブは、9月の国連総会ハイレベル会合の機会に立ち上げ、インパクト投資の促進を呼び掛ける。

### 取組概要

- **目的**： GHの社会課題を解決することを目的とし、インパクト投資を通じた民間資金動員の促進
- **想定参加機関**： 国際開発金融機関（MDBs）、開発金融機関（DFIs）、公的開発銀行（PDBs）、ファンドマネージャー、機関投資家、民間企業、財団、その他の関連機関等
- **事務局**： アウトリーチ活動、事例の収集、好事例の広報、作業部会の開催、フォーラムの開催等を行う。  
GSG諮問委員会、インパクト・タスクフォースやビル&メリンダ・ゲイツ財団等と協力
- **対象となる投資の基準（暫定）**：
  - a. GH課題の解決やポジティブなインパクトの創出を企図したプロジェクト・金融取引
  - b. 主にLMICsにおける、貧しい人々や脆弱な人々に届く製品・サービスを対象とするプロジェクト・金融取引
  - c. 測定可能な社会的インパクトを持ち、エビデンスに基づき報告、レビュー、検証ができるもの
  - d. 資金動員に関する能力開発などのその他の取組で、エビデンスに基づき報告、レビュー、検証ができるもの
- **対象分野**： 予防接種、感染症（HIV/AIDS、結核、マラリアなど）、顧みられない熱帯病（NTDs）、薬剤耐性（AMR）、メンタルヘルス症状を含む非感染性疾患（NCDs）、性と生殖に関する健康と権利（SRHR）、母子・新生児・思春期の健康、健康的な高齢化、栄養、水・衛生（WASH）、非常に高額な医療費に対する経済的保護とその軽減、パンデミックへの予防・備え・対応（PPR）、デジタルヘルスなどのGHの課題